

九州大学授業案内

中村哲 記念講座

医療支援と農村復興事業の
実践から考える平和と自然

写真提供 PMS/ペシャワール会

私たちはどこから来て どこへ行くのか

授業 情報

開講：2024年度秋学期 基幹教育総合科目

日程：10月2日（水）～11月27日（水）（全8回）※11月6日（水）は休講

時限：水曜日4限（14:50-16:20）

場所：Sky Cute.Commons（九州大学伊都キャンパス 中央図書館4F）

＜中村哲医師について＞

九州大学医学部の卒業生で、長年にわたりパキスタン・アフガニスタンで支援活動を行う。1984年にパキスタンのペシャワールに国際医療協力の医師として赴任。2000年の大干ばつ以降、井戸事業・灌漑施設の建設など農村復興事業を進める。2019年没後も、その意志は引き継がれ、現在70万人以上の生活を支えている。



＜担当教員から：比較社会文化研究院 鎗木政彦先生＞

皆さんは中村哲医師をご存知ですか。長年にわたり紛争の地の住民支援を継続した中村哲医師の生き方は、私たちにいかに生きるべきかを問いかけます。このポスターに惹かれるものを感じた人は、ぜひ受講を考えてみてください。

＜注意事項＞

- ・授業は対面を基本とします。
- ・受講希望者は事前申請を行ってください。
- 【期間：9月2日（月）～6日（金）17:00 〆切】
- ・枠にあまりがあれば、〆切後でも受講できます。
- ・希望者多数の場合は抽選で受講者を決定します。



中村哲記念講座シラバス



中村哲記念講座note



ポスター制作

アフガンにて、35年にわたり医療や農村復興活動に尽力された中村哲医師（1946-2019）。母校である九州大学では、氏の志と仕事を次代に継承するため、2020年から「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」を行っています。今年4年目となる基幹教育総合科目の授業「中村哲記念講座」もそのプロジェクトの一つです。中村哲医師の生き方を通して、私たちがどのような社会で生きているのか、そしてどう在りたいのか、当講座で一緒に考えませんか？

中村哲記念講座について

授業では、中村哲医師の著書や資料を読み、氏と共に長年活動された方々の講演や、グループの対話を通じて、様々な角度から氏の仕事の意義を考えます。そして、中村哲医師の視点を借りながら、自分を見つめ、どう在りたいのか考えた成果を講座最終回にて発表します。



講演 1（10月30日） 村上優氏



ペシャワール会会長／現PMS総院長。精神科医師。
九州大学医学部卒業後、1974年に国立肥前療養所で中村哲医師と出会い40年以上の親交があります。ペシャワール会発足当時から現地活動を支え、中村哲医師の最も身近な相談役でした。
当講座は4度目の登壇。中村哲医師の思索について考えを深めていけるよう、仕事や言葉を紹介しながら、ご講演いただいています。

講演 2（11月13日） 藤田千代子氏



PMS支援室長／PMS総院長補佐。看護師。
1990年から現地での医療活動にあたり、女性患者の診療や現地医療スタッフ(女性看護助手含む)の育成に尽力しました。2021年に著名な功績があった看護師に贈られる「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章。当講座では、リアルな現地での活動や実践の場の中村哲医師のお話を聞くことができます。

哲縁会について

哲縁会は、中村哲医師について関心を持ち、氏の意志を受け継いでいくことを目指す学生団体です。氏の生き方を咀嚼し、自らが主体となり新たな縁を繋いでいくことを目的として読書会や発信イベントを行っています。私たちも本講座にTAとして参加します。



哲縁会Instagram



哲縁会Xアカウント

